

# ノクターン



井上江里子

ある山奥の村の小学校。音楽室の片すみに、古いグラ  
ンドピアノがありました。

年老いたそのピアノは、表の板はひびわれ、ペダルは  
さびつき、鍵盤もところどころ元にもどらないような具  
合で、うす暗い音楽室に放ったままにされていました。

村はここ数年で、住む人がほとんど減っていきまし  
た。わずかにいた子どもたちも隣の大きな小学校に通うこ  
とになり、ここはどうとう廃校になってしまいました。  
今は校舎はもちろん音楽室も、窓が閉じられ鍵もかけら  
れ、誰も入ることができなくなっています。

けれど老ピアノは、そんなことを知るよしもありませ  
ん。しばらく人が来ないけれど、  
「春休みかな？ 休み明けはいつじやろう」  
などののんきに、次に子どもたちに会える時を心待ち  
にしています。

老ピアノは、子どもたちが大好きでした。

先生の伴奏に合わせ大きな口を開けて歌う姿や、その  
歌声も愛らしく思っていました。

昼休みなどには何人もの子がやってきて、かわるがわ  
る可愛らしい手をのせ、ポンポンと音を鳴らしました。  
中にはとても上手な子もいて、毎日やってきて弾いてく  
れました。

「これね、シヨパンのノクターンで曲だよ。ノクターン  
てね、夜の曲っていう意味なんだ」

たしかあの子は、こんなふうに言って周りの子に教え

ていました。

柔らかな月夜の春風が、音楽室の窓をカタカタと叩い  
てきました。夜は特にさみしい気持ちになるけれど、  
子どもたちの歌声とあの子のピアノを交互に思い出し、  
温かい穏やかな心持ちになってからゆるりと眠りにつき  
ました。

ある朝。老ピアノは、こちらへ近づいてくるにぎやか  
な声で目を覚ましました。

「子どもたち？」  
はやる気持ちを抑えて外から聞こえる声へ耳を傾ける  
と、それは野太い大人たちの声でした。

大きな足音とザラザラと何かを引きずる音。そして大  
声で話しているその言葉を聞いて、老ピアノは耳を疑い  
ました。それは「壊す」「崩す」といった言葉だったの  
です。

やがてカンカン、という金属音に続き、グウングウ  
ン、ゴゴゴゴ、という強力な機械の音が、地響きとともに  
に老ピアノのいる音楽室まで、ひっきりなしに聞こえて  
きました。

老ピアノは、ようやく気がつきました。

この学校が閉じられ、子どもたちがもう戻ってこない  
こと。そしてまさに今、校舎もろとも自分が壊されそう  
になっていることを。

目を閉じ、浅く息をして、老ピアノは出来るだけ何も  
感じないようにつとめました。校舎を崩す重機の破壊音  
が身体中に響いて、いてもたってもいられなかったから  
です。

美しくない音、物を壊す、無機質の音が自分の体をめ  
ぐるなんて、とても正気を保ってはいられません。した。  
老ピアノはとっさに、今までの楽しかった出来事をた  
くさん思い出しました。

五十年前。初めてこの学校に入ったときには、村じゆ  
うの人が見に来てくれました。子どもたちは、目を輝か

せながら自分に触れてくれました。季節の行事ごとに体  
育館へ運ばれ、式典の伴奏もなしました。子どもたち  
と過ごした音楽の授業や昼休み……素晴らしい日々と思  
い出がたくさん浮かびました

「楽しい人生だった。かなうならもう一度、あの子のシ  
ヨパンを聴きたかったなあ……」

するといきなり重機の音がヒタリと止み、あたりがし  
んと静まり返りました。老ピアノがじつと耳をすまして  
いると、しばらくして音楽室の扉が開き、一人の若者が  
入ってきました。

「ああよかった。間に合った」

若者はそうつぶやくと、持っていた大きな布を老ピ  
アノにかぶせ、トラックに乗せて運んでいきました。

着いたところは、木の香りでいっぱい的小さな楽器工  
房でした。ピアノの原木（材料となる木）が生まれる、  
北の大地の懐かしい香りに気づいて、老ピアノの心は震  
えました。

若者はピアノ修復士でした。

表板の傷やさびついたペダルなど壊れたところを一つ  
一つ見つけ出し、時間をかけて、丁寧に直していきまし  
た。

老ピアノは、毎日少しずつ自分が若返っていくのを感じ  
ました。

さらに数ヶ月が経って、すっかりきれいになった老ピ  
アノは、またトラックに載せられて運ばれて行きました。  
着いたところは、たくさんの方が行き交うターミナル  
駅でした。

中央広場に据えられて、すっかり見違えた老ピアノに  
向かって若者が言いました。

「ここであつた、たくさんの人々を楽しませておくれ。か  
つての僕らにしてくれたようにね」

若者は椅子に腰掛けて老ピアノに向かうと、懐かしい  
シヨパンのあの曲を弾き始めました。